

第4回 診断病理サマーフェスト

—病理と臨床の対話—

テーマ：悪性リンパ腫の病理と臨床

(第4版WHO分類をふまえて)

開催日：2010年 8月28日(土), 29日(日)

会場：京都テルサ 西館1階「テルサホール」

(<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/>)

対象：病理医, 内科医, 放射線科医, 皮膚科医など

参加費：20,000円(初期・後期研修医, 大学院生15,000円)

August 28, 2010 12:50-18:55

【第1部】診断の基礎知識

組織・免疫染色(田丸), 表面マーカー・遺伝子(一迫)

【第2部】病理組織診断

B細胞性(吉野), T/NK細胞性(竹内), Hodgkin(田丸)

【第3部】画像診断および治療

画像診断(小口), PET概要(伊豆津),
放射線治療(小口), 内科的治療(新津)

【第4部】臓器別特性

1. 皮膚

病理(清水), 皮膚科(岩月)

19:20 懇親会(「朱雀」にて)



京都テルサ

August 29, 2010 9:00-12:05

【第4部】

2. 中枢神経

病理(竹内), 放射線科(磯部), 内科(新津)

3. 肺臓

病理(吉野), 放射線科(酒井), 内科(伊豆津)

4. 消化管

病理(吉野), 放射線科(磯部), 内科(伊豆津)

この会は、病理と臨床の対話を行なおうとするものです。お互いの対話によって理解し合い、明日の臨床に役立てることを目的としています。臨床医は病理を、病理医は臨床を学び、両者を結びつけて理解します。病理のみならず、内科、放射線科、皮膚科などの先生方も是非ご参加下さい。

◎ 講師 (講演順、敬称略)

田丸 淳一	埼玉医科大学総合医療センター 病理部 教授
一迫 玲	東北大学大学院医学系研究科血液病理学 教授
吉野 正	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学(腫瘍病理/第二病理)教授
竹内 賢吾	財団法人 癌研究会 癌研究所 病理部 研究員
小口 正彦	財団法人 癌研究会 癌研究会有明病院 放射線治療科 部長
伊豆津 宏二	虎の門病院 血液内科 医長
新津 望	埼玉医科大学国際医療センター 造血管腫瘍科 教授
清水 道生	埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 教授
岩月 啓氏	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 皮膚科学分野 教授
磯部 公一	千葉大学 医学部附属病院 放射線科 講師
酒井 文和	埼玉医科大学国際医療センター中央放射線部・画像診断科 教授

主催：日本病理学会

第4回 診断病理サマーフェスト —病理と臨床の対話—

第1部 実際の診断業務において知っておきたいリンパ節の組織構造や組織免疫染色に使用される抗体を紹介。さらに、リンパ腫診断におけるフローサイトメトリーや遺伝子解析の重要性について解説する。

第2部 第4版WHO分類にそってB細胞性、T/NK細胞性、およびHodgkinリンパ腫について紹介し、その病理診断におけるポイントを解説する。

第3部 悪性リンパ腫の画像診断、放射線治療を放射線科医が解説し、近年多用されているPET検査の紹介および化学療法、抗体療法、移植療法について内科医が解説する。

第4部 悪性リンパ腫はリンパ節のみならずさまざまな臓器からの発生が知られており、各々の臓器に発生するリンパ腫の特性も明らかになり、第4版WHO分類では発生臓器に着目した亜型分類がうかがわれる。第4部では皮膚、中枢神経、肺臓、消化管の悪性リンパ腫について、病理医、放射線科医、内科医が診断・治療について解説する。

参加希望の方は、必要事項を明記のうえ下記に申し込み下さい。先着200名まで受け付けます。受付後参加費振込口座(郵便振替)をお知らせいたします。初期・後期研修医、大学院生は所属長の署名による証明が必要です。

参加申込先： 社団法人 日本病理学会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9 ニュー赤門ビル4F

TEL 03-5684-6886 E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

FAX : 03-5684-6936

フリガナ	
氏名	
所属学会	
所属施設・部署	
連絡先 〔勤務先・自宅〕 どちらかに○を付けて下さい。	〒 TEL () FAX () E-mail: @

上記の者が〔初期研修医・後期研修医・大学院生〕であることを証明致します。

所属： 役職

署名： 印